

BSEリスク評価項目一覧

大項目	中項目	小項目 1)	日本による評価		EFSA GBR	OIE
			日本	米国・カナダ 2)		
生体牛 (感染率・蓄積量)	侵入リスク	生体牛の輸入				
		肉骨粉の輸入				
		動物性油脂の輸入				
		米国・カナダと日本の侵入リスクの比較				
		輸入された動物飼料及び飼料原料				
		牛に給与された可能性がある、 反すう動物に由来する輸入製品	3)	3)		
		牛の体内(in vivo)利用に供される 反すう動物由来の輸入製品	3)	3)		
		上記物品の処分に対する疫学的調査結果				
	暴露・増幅リスク	飼料規制				
		自国産反すう動物群由来の肉骨粉 又は獣脂かすの生産				
		遵守状況と交差汚染の可能性				
		特定危険部位 (SRM) の利用 (レンダリング)				
		BSE の暴露・増幅リスクシナリオ (モデル)				
		伝達性ミンク脳症				
		シカの慢性消耗病				
	サーベイランスによる検証	サーベイランス				
		母集団の構造	5)			
		迅速検査によるBSEプリオンの検出限界		4)		
		迅速検査により検出可能な月齢		4)		
		検査の展望		4)		
		サンプリング				
		採材	5)			
		一次検査				
		確認検査: WB 法、IHC 法	5)			
		判定のための専門家会議	5)			
		米国・カナダおよび我が国の サーベイランスデータの外挿				
		と畜対象	トレーサビリティ (月齢確認)			
	と畜頭数 (年齢、品種)					
	と畜処理の各プロセス	と畜前検査 (高リスク牛の排除)				
		と畜場でのBSE 検査 (スクリーニング)				
		スタンニングの方法				
		ビッシング				
		SRM の除去 (せき髄除去と枝肉洗浄後の確認)				
SSOP, HACCP に基づく管理 (遵守の検証)						
食肉等のリスク	BSE プリオンの生体内分布					
	食肉及び先進的機械回収肉 (AMR)					
	内臓	5)				
BSE検査月齢の見直しに係る 定量的リスク評価の試算						
関係者を対象とした 周知プログラム		5)				
認定機関での検査実施		5)				

...評価書の項目または内容に盛り込まれているもの

- 1) 小項目...日本、米国・カナダの評価書の項目に沿って項目出しをしたもの(網掛け)に、EFSA GBR、OIEの評価の項目を加えて作成。
- 2) 米国・カナダについては対日輸出プログラムについての検討を行った。
- 3) これに該当する製品の輸入は不明であり、評価の対象とはしていない。
- 4) 評価書自体に詳細な記載はないが、中間とりまとめでの議論をふまえた評価がなされている。
- 5) 米国・カナダの評価書内において日本についての評価がなされているもの。